

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

発行
市川市教育委員会
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111
企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

これからの市川の教育 ～つなぐ教育の具現化に向けて～

平成25年度がスタートして3ヶ月が過ぎました。昨年度は、「いじめ」や「体罰」の問題に起因する、教育委員会や学校教育への不信感の増大など、教育界にとっては、深刻な課題が突きつけられた一年でした。

= より信頼される

市川の教育を目指して =

現在、市川市では、より信頼される市川の教育を目指して、各学校において、子どもたちの「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」の育成を目指し全力で取り組み、その成果を保護者や地域の皆様へ積極的に発信するよう努めています。これらの取り組みは、学校だけではなく、保護者や地域の皆様のご理解・ご協力が不可欠で

す。市川市の目指す地域ぐるみで子どもたちを育てる「つなぐ教育」の具現化に向け、これからもご協力をお願いします。

= 新たな教育の流れ =

一方、国では、教育再生実行会議が、これからの教育についての提言として、「道徳の教科化」「小学校の英語教科化」「教育委員会改革」などを挙げています。また、中央教育審議会が第2期教育振興基本計画を答申し、先日、閣議決定されました。これらは、新たな教育の基本的な方向性を示しています。

= 市川市教育振興基本計画 =

市川市では、平成21年度に市川市教育振興基本計画を策定し、「人をつなぐ 未

来へつなぐ 市川の教育」を基本理念として、国の計画に準拠しながらも、本市の特性等も勘案した上で、本市教育の充実を図るための様々な施策を展開してきました。毎年実施している施策の評価でも、この4年間における確実な成果が見られます。5年目の今年も、計画最終年度となっており、現在、第2期市川市教育振興基本計画(平成26年度～平成30年度)を策定中です。第2期計画では、基本理念や基本的方向性は現行の計画を継承するとともに、現行の計画の課題や新たに浮上した課題にも対応した内容としてまいります。

【教育政策課】



小林氏が教育委員に就任

昨年、逝去された吉岡委員の後任として、小林正貴氏が教育委員に就任しました。小林委員は医師として富美浜小、塩浜小の学校医を30年以上、塩浜保育園の園医を20年以上務められるなど、長きにわたり市川市の児童生徒の健康管理に尽力いただいております。また、市川市医師会において小児科医会会長、副議長、理事を歴任され、現在は参与として医師会の運営に携わっております。就任にあたり、「子どもたちの長所を伸ばすきめ細かい教育などの実現に努めたい」と抱負を語っていただきました。

【教育政策課・教育センター】

豊かな家庭教育のために 連載(1) 「よりよい親子関係」

家庭教育はすべての教育の出発点です。今回より家庭教育の在り方について連載でお伝えします。第1回は、よりよい親子関係についてです。

家庭における豊かな親子関係を築いていくためには、日常の親子の会話を大切にしながらコミュニケーションをとっていくことが不可欠です。常にお子さんの話をきちんと受け止める気持ちがあれば、会話が成り立ち、よりよい親子関係を築いていくことができるようになります。心から耳を傾けるということは、相手を大切にすることにもつながります。

そのためには、まず「あいさつ」から始めましょう。あいさつは、人間関係を築く出発点です。そして、親が押しつける「1往復」の会話ではなく、聞き返しや切り返しをすることによって子どもの思いや気持ちを受け止める「2往復半」の会話をめざしていきましょう。

先日、幼稚園で家庭教育指導員派遣講座を行いました。そこで「マイナス言葉をプラス言葉に」(保育の言葉かけ研究会編)という内容を話しました。

- ・気が小さい 周囲に配慮できる
- ・飽きっぽい 好奇心旺盛
- ・気が散る 興味関心が高い
- ・臆病 慎重である
- ・あわてんぼう 行動的
- ・うるさい 明るく活発

お子さんを多面的に柔軟性をもって見ることによって、子どものよさと可能性を伸ばしていきたいものです。参加した保護者からは「プラス言葉で話せる親の余裕をもちたい」「プラス言葉を心に刻んで幸せになれる子を育てたい」「すべてを否定せずプラス思考で子育てをしていきたい」などの感想が寄せられました。

ご家庭でもお子さんを多面的に柔軟性をもって見ることで、よりよい親子関係を築いていってほしいと思います。

【生涯学習振興課/家庭教育指導員 八重樫 茂】

さまざまな交流の機会に 須和田の丘支援学校 運動会

5月から6月にかけて、市内のすべての学校で運動会、体育祭が実施されました。須和田の丘支援学校でも5月18日、小学部、中学部、高等部合同の運動会が行われました。通常は小学部が稲越校舎、中学部・高等部が須和田校舎と別々の場所で学校生活を送っている児童・生徒も、この日はお互いの活動を見合ったり応援し合ったりしていました。



練習の成果を発揮し一生懸命取り組む大玉送り

運動会は第二中学校の校庭で行われました。須和田校舎は第二中学校と道路を隔てて建っており、当日だけでなく練習の時から第二中学校の校庭を借りています。当日は、第二中学校の生徒が10名、ボランティアとして参加し用具運びを手伝いました。

学部や学校種をこえて、子どもたちとともに作りあげた運動会となりました。

【教育センター】

歯と口の健康週間

第39回市川市むし歯予防大会が開催される

6月5日、第39回を迎える「市川市むし歯予防大会」が、生涯学習センターに於いて開催されました。市内小中学校及び特別支援学校の健歯児童生徒の審査と表彰を行い、その中から千葉県教育委員会教育長賞、千葉県歯科医師会会長賞、市川市歯科医師会会長賞の受賞者を選びました。また、「むし歯予防」を啓発する図画、ポスター、作文の中から、優秀、優良、佳作の作品を選び表彰を行いました。

昨年までこの大会は「歯の衛生週間」の啓発事業として開催されてきましたが、本年度より「歯と口の健康週間」という事業になりました。



むし歯とともに、歯を失う原因の一つに歯周病があります。実際に学校の歯科健診でも、歯周病のサインである「歯肉が赤く腫れている」症状が多く見られます。

歯周組織は、歯と歯が植立している歯肉、歯肉に覆われていて直接的に歯を支えている歯槽骨(しそうこつ)と呼ばれる骨などから成り立っています。歯肉が腫れあ

がった状態、すなわち歯肉の炎症は、この歯を支えている部分にダメージを与え続けます。

むし歯は、穴が開いたり食べ物が詰まったり、比較的自分でもわかるものです。しかし、歯の周囲の炎症は、自分で分かる段階まで悪化させてしまうと、歯を失う確率がかなり高くなってしまいます。そこで、今年度から歯肉等の健康を含めた「歯と口の健康週間」と事業名を変更しました。

◆◇教育委員と児童との交流会◆◇

1年生の卒業を祝う会に向けて6年生の似顔絵を描く授業をはじめ、全学級を参観しました。音楽の授業では、中国分小の伝統を感じさせる美しい歌声が教室に響いていました。



中国分小(2/14)

6年生との交流会でも、児童一人一人がしっかりと中学校生活のこと、将来のことなど、自分の考えを述べていました。



鶴指小(2/26)

6年生を送る会を参観した後、卒業目前の6年生と交流会を行いました。将来の夢に向けてがんばっていること、自分たちが卒業した後も続いてほしい学校の伝統などについて発言が続きました。送る会での6年生の言葉の中に、将来は世界で活躍していきたいと話す児童が多く、教育委員の皆さんも頼もしさを感じていました。【教育政策課・教育センター】

受賞おめでとう

3月22日、市川市児童・生徒学習賞の追加表彰式が市川市役所市長室で行われました。今回の追加表彰では、「第10回新聞切り抜き作品コンクール」において小学校の部最優秀賞を受賞した市川市立塩焼小学校5年生、上野伊吹さん、宇都花凜さん、高橋沙綾さんが団体として受賞しました。おめでとうございます。【指導課】



は「歯っぴー大使」の皆さんの活躍に期待

今回、各学校の代表となった健歯児童生徒の皆さんには、歯と歯肉のきれいな「歯っぴー大使」になっていただき、「歯っぴー大使3カ条」のミッション(使命)をお願いしました。

歯っぴー大使3カ条

- 1 歯磨きの大切さを教えてあげましょう
- 2 歯の磨き方を教えてあげましょう
- 3 定期検診の大切さを教えてあげましょう

健歯児童生徒に選出された皆さんのアンケートを見て、歯みがきについて「そんなに一生懸命、歯ブラシしてないよ」という回答がみられます。また、「歯は遺伝でしょう」という声も耳にすることがあります。しかし、歯が健康な皆さんは、人より良く噛む習慣が身につけたり、本人が気づかないうちに食べ物の中に多く含まれる繊維質などで歯の自浄作用が行われていたりします。

ぜひ、「歯っぴー大使」の皆さんは、学校や家庭でミッションを実行し、「歯っぴー大使」の仲間を増やしてほしいと思います。

最後に、「歯と口の健康」を守るためには、食育を含め、様々な角度からのアプローチが必要です。定期検診をはじめとして、かかりつけの歯科医師になんでもご相談ください。

【市川市歯科医師会 学校歯科担当 理事 河内 嘉道】

平成25年度 健歯・歯科衛生作品入賞者

健歯児童 小学校6年の部				
男子			女子	
県教育長賞	行徳小学校	小松 新太郎	南行徳小学校	櫻井 結衣
会長賞	若宮小学校	小西 裕介	鶴指小学校	八木 梨花子
市会長賞	新浜小学校	齋藤 聖	稲荷木小学校	鈴木 千晴
健歯生徒 中学校3年の部				
男子			女子	
県教育長賞	妙典中学校	菅井 理一	第七中学校	大澤 ひなの
会長賞	南行徳中学校	福井 将人	大洲中学校	脇田 栞
市会長賞	東国分中学校	浦野 龍太	南行徳中学校	田中 琴音
図画の部		ポスターの部		
優秀	百合台小学校 3年	野島 大和	優秀	北方小学校 6年 五関 実夢
優良	市川小学校 2年	高橋 菜緒	優良	鶴指小学校 6年 谷中 柊斗
優良	市川小学校 3年	山口 朋華	優良	福栄小学校 4年 喜多村 千夏
佳作	大洲小学校 3年	山川 凜	佳作	北方小学校 6年 高倉 大河
佳作	柏井小学校 3年	三ツ森 美優	佳作	鬼高小学校 6年 渡邊 優奈
佳作	鶴指小学校 2年	清水 琉惺	佳作	菅野小学校 6年 萩原 千晴
作文の部				
優秀	北方小学校 6年	戸塚 菜生	佳作	若宮小学校 6年 一瀬 知恵
優良	若宮小学校 6年	藤岡 大和	佳作	須和田の丘支援学校 5年 大慈弥 直毅
優良	北方小学校 6年	北村 稀	佳作	若宮小学校 6年 富田 陸

教育委員と意見交流を実施

～市川市新規採用教職員等研修会～

市川市では、採用1年目と2年目の市内幼・小・中・特別支援学校並びに教育委員会職員を対象に研修会を実施しております。



真剣な眼差しで意見交流をする参加者

第1回は、採用2年目の教職員がグループに分かれ教育委員と意見交流会を行いました。「子どもとの人間関係の作り方」「保護者との連携」など、若手教職員が悩んでいることについて活発な議論が展開され、グループごとに教育委員から助言をいただいていた。

第2回は、採用1年目の教職員を対象に五十嵐委員が「何を大切にしていますか」という演題で講話を行いました。特別支援学校の校長時代のことや市川市の教育施策など幅広いお話を通して、保護者と教員との心のつながりが大切であること、人や地域とのつながり、子どもへの思いやりなど、目に見えないものを大切にしてほしいとのメッセージが伝えられました。

どちらの研修会も参加した教職員にはとても有意義で充実したものでした。【指導課】

ご存知ですか? 「学校支援コーディネーター」

市川市では、地域住民がボランティアとなって、学校の様々なお手伝いをしてきたことをご存じですか? その際、ボランティアされる側の学校と、する側の地域住民を結びつける役割を果たすのが学校支援コーディネーターです。

4月24日に学校支援コーディネーター委嘱状交付式を行い、20校25名の学校支援コーディネーターが誕生しました。右が配置された学校です。学校支援は、学校のお手伝い自体が目的ではなく、学校を支援する体制を地域に構築することが本来の目的です。これにより、家庭・学校・地域が連携協力し、地域ぐるみで子どもたちを育む、いきいきとした地域社会が実現できると考えられます。学校支援コーディネーター、その他学校支援について詳しくは、下記までお問い合わせください。

学校支援コーディネーター配置校

平田小	曾谷小	大洲小	大和田小
菅野小	北方小	大野小	第八中
行徳小	新浜小	塩焼小	塩浜中
福栄小	富美浜小	塩浜小	南行徳中
鶴指小	二俣小	柏井小	須和田の丘

【生涯学習振興課】379-2480

めざせ 未来の青少年リーダー!!

～平成25年度ジュニアリーダー講習会開講～

ジュニアリーダー講習会は、野外活動を核とした集団活動を通して、リーダーシップ及びメンバーシップを体験的に学び中学生としての資質向上を図る目的で、年間7回開催されます。今年度は、43名の中学生が参加しています。

6月2日に実施された講習会では、消防局救急課の方にご協力いただき、外傷の応急手当の方法を学びました。最初は、三角巾の使い方や結び方などが理解できずに苦戦している子もいましたが、ポイントを教わりながら、最終的にはほとんどの参加者が自分で応急手当ができるようになっていました。慣れない手つきで友だちと一緒に何度も練習している姿は、リーダーとして大きな一歩を踏み出したように見えました。

ジュニアリーダー講習会は、学校や学年関係なく、いろいろな仲間と活動を行うため、自発的にリーダーシップやメンバーへの関わり方について考えたり学んだりするところに大きな魅力があります。昨年の講習会に参加した2・3年生は、グループ活動の経験が多いため、今年度は、自ら進んでメンバーに話しかけたり、時には聞き役になったり、周りに気を配ったりと、一段と頼もしくなっていました。

今年度も講習会を通して様々な経験を積み、より一層頼もしいリーダーに成長してくれることを期待しています。【青少年育成課】



いざ!という時のために何度も練習

市川市立小・中・特別支援学校のオープン・スクール・デー

～保護者の方だけでなく地域の方も～

自校の教育活動を保護者だけでなく、地域で暮らす皆様にも見ていただけるよう『オープン・スクール・デー』を開催しています。

『オープン・スクール・デー』の詳細につきましては、各学校へお問い合わせをお願いいたします。

各学校の日程につきましては、市川市のWebサイトに掲載しています。【義務教育課】

市川市ホームページ

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>

教育委員会

オープンスクールデー(学校公開日)

開催日程 小学校 中学校

お米アイスを商品化!

総合的な学習の時間の取り組みとして

昨年度卒業した行徳小学校6年1組の児童は、5年生で行った稲作体験をきっかけに、日本の食糧自給率について学びました。

そこで、米を使ったいろいろな食べ物が広がれば、米の自給率も向上するのではないかと考え、ご飯や米粉を使った菓子作りに挑戦しました。試作品を地元の商店に提案したりコンテストに応募したりするなど、商品化をめざし様々な活動を行ってきました。NPO法人の仲介もあり、洋菓子メーカーが児童のアイデアを取り入れてお米アイスを販売することになりました。

これらの活動を通して、児童は地域との関わりを学んだり、社会の中で活用できる力を身につけたりしたと思います。児童の学びの可能性は無限大です。



熱心にパッケージの紹介をする様子

【教育センター】

小・中学校の講師募集

市川市教育委員会では、市内の公立小学校・中学校・特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

1 募集職種

- (1) 臨時的任用講師
 - ・ 欠員が生じた場合や産前産後休暇等の代替として勤務する常勤の講師
- (2) 非常勤講師
 - ・ 定められた教科の授業を行う非常勤(週10時間～29時間)の講師
- (3) 補助教員
 - ・ 担任の補助として定められた教科の指導をサポートしたり、特別支援学級等の補助をしたりする週35時間の補助教員

2 応募資格

- (1) 希望職種または担当教科の教員免許状を所有する方(取得見込の方も含む)
- (2) 地方公務員法第16条の欠格事項及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない方
- (3) 教職に必要な見識と熱意を持った、心身ともに健康な方

3 必要書類

- (1) 履歴書(市販のものに必要事項を記入の上、3ヶ月以内に撮影した写真を貼付)
- (2) 教員免許状の写し

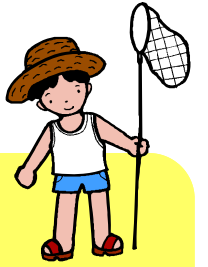
4 応募方法

- * 義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。講師登録(面接)の日程を調整します。
- * 必要書類を持参していただき面接をさせていただきます。登録となります。
- * 採用につきましては、欠員が生じた場合に登録者の中から再度面接の上決定します。
- * 登録後、すぐに採用されるものではありません。

市川市役所4階 市川市教育委員会 義務教育課 教職員班
TEL 334-1638(直通)

さあ夏休み いろいろなイベントに参加しよう!

夏季休業中、教育委員会では、さまざまイベントを開催します。
楽しい体験や夏休みの宿題のヒントになるものばかりです。多くの
皆様の参加をお待ちしています。



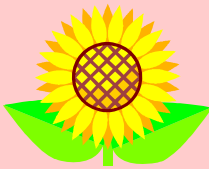
歴史がもっと好きになる! ～学芸員と歩いて作る歴史地図～

子どもたちに地域の歴史や史跡、昔のくらしに興味をもってもらうために実施している夏休み歴史地図作りが、更にパワーアップしました。

今年度は、昨年度も好評だった真間地区に加え、行徳地区の歴史地図作りも行います。

学芸員と一緒に歩くことで、慣れ親しんだ町の新たな発見ができる体験です。

- ・日時：平成25年8月 7日(水) 行徳地区
平成25年8月25日(日) 真間地区
- ・対象：小学校3年生以上(保護者同伴可)
- ・定員：各20組程度
- ・申し込み：電話での先着順
- ・参加費：無料



【問い合わせ】市川歴史博物館 373-6351 (菅野)

ザ・チャレンジ! 自由研究

夏休みに、じっくりと自由研究に取り組んでみませんか。
市川市理科部会の先生方が、実験や採集をしながら、自由研究についてアドバイスをしてくれます!

- ・日時：平成25年7月25日(木) 13:30~15:30
- ・場所：市川市少年自然の家
- ・内容：①科学工作・実験 ②昆虫標本 ③植物標本
- ・定員：小学生60名(各内容ごと20名)
*内容ごとに定員になり次第締め切りとなります。
*1~3年生は保護者同伴となります。
- ・持ち物 内容① 筆記用具
内容② 虫捕り網、筆記用具
内容③ 古新聞、ハサミ、のり、移植ごて(シャベル) 軍手、ビニール袋、筆記用具
- ・申し込み：電話で申し込み
※氏名・学年・住所・電話番号・希望する研究内容を伝えてください。
- ・受付期間 7月6日(土)~7月15日(月・祝)
(7月8日を除く)
9:00~17:00

【問い合わせ】市川市少年自然の家 337-0533

博物館サマーフェスタ

緑豊かな堀之内貝塚公園と考古博物館・歴史博物館が贈る、子どもから大人まで楽しめる体験型のお祭りが、今年も開催されます。

夏休みの思い出作りだけでなく、自由研究のヒントになる活動もたくさんあります。

- ・日時：平成25年8月24日(土) 10:00~15:00
- ・会場：考古博物館・歴史博物館・堀之内貝塚公園
- ・内容：火おこし体験、昔のあそび(紋切りあそび、粘土の型抜き、お手玉など)、紙芝居、拓本とり、竹細工、勾玉づくりなど
- ・申し込み：先着順(材料がなくなり次第締め切ります。)

※体験内容により、一部材料費が必要になるものもあります。
※保護者同伴であれば、5歳くらいから体験が可能なものもあります。
※雨天時は縮小開催します。内容や場所は変更になる場合があります。

【問い合わせ】市川考古博物館 373-2202
市川歴史博物館 373-6351

子ども の非行や 子育てに 悩んだら 相談を!

夏休み中のお子さんの行動を把握できていますか?

大型の商業施設やゲームセンター・カラオケボックス・地域で行われるお祭り、友だちの家でのお泊り会など保護者の皆様の目のとどかない所で子どもたちは活動しています。開放感から、ついつい危ない行動、万引き・自転車盗・喫煙・飲酒・不純異性交遊など、非行の扉を開けてしまうこともあります。

少年センターでは、地域のお祭りのパトロールや街頭での補導活動を展開しております。また、少年何でも相談として、子どもや保護者の方からの悩みをお聞きしています。

子どもの非行や子育てに悩んだら、ご相談ください。

【少年センター】

○電話相談 320-3340
月曜日~水曜日・金曜日(9:00~17:00)木曜日(9:00~19:00)

○メール相談 youngnet@city.ichikawa.chiba.jp
土・日曜日のメールは月曜日、祝日のメールは翌日にお返事します。

○面接相談 320-3340
上記の電話で、電話相談の受付時間内に予約してください。

平成25年度 教科書展示会

どなたでも
ご覧になれます

- 展示教科書
- ・平成25年度使用教科書
小学校用・中学校用
 - ・平成26年度使用教科書見本
特別支援学校(小・中学部)用
特別支援学級用

期間：7月23日(火)~8月31日(土)
※7月29日(月)・31日(水)及び
8月中の月曜日を除く

時間：10:00~17:00

会場：生涯学習センター3F
文学ミュージアム資料室

【問い合わせ】教育センター 320-3335